



# 図書館だより



2018 7 懐風館高校

夏休みが始まりますね。

クラブや講習、宿題と夏休みも大変！でも、お祭り、旅行、花火などいろいろ楽しい計画があると思います。ちょっとおまけに読書もいかがですか。

物語の主人公となって、世界中を冒険したりモテモテの恋をしたり探偵になって事件を解決するなど実際には経験できない体験ができるのでおすすめします。

夏休みは特別に一人5冊まで貸出OKです。この機会に図書館をのぞいてみて下さい。



おすすめの1冊



理科 S



モンテクリスト伯  
アレクサンドルデュマ  
たね。髪の毛ぼーぼーのホームレスが、どうやって日本からシンガポールのスイス銀行へ行ったのか、とかいろいろツツコミどころがありました。華麗なる復讐 楽しい。  
原作と変えてるところを探しながら見てました。「ヴィランティヌ」が「未蘭(みらん)」はわかるけど、「メルセデス」が「すみれ」は無理がある。  
原作は長いけど、読みだしたら止まらないおもしろさです。

理科 H



となりのイスラム  
内藤 正典

テレビの過激派テロ報道やシリアの内線悪化による難民の大量流出を聞くと「なにか解らない怖さ」を感じる。近い将来3人に1人がイスラム教徒になる、とも言われているので他人事ではないのだ。イスラム教について知らないしていると大変な事になりそう。この本には、イスラム教徒の人々の考え方や感じ方や私達の気になるモスク・銀行・学校・お葬式等の社会的な疑問などが分かりやすく書かれています。おススメです。

## 学舎の草木



「くすぐりの木」「こちよこちよの木」とも呼ばれています。



中庭中央渡り廊下横でピンク色の花を房状に咲かせているサルスベリは、中国南部が原産で日本には、江戸時代(元禄)以前に伝わったと言われています。花は、七月から九月。色は白、ピンク、紅色、紅紫色があります。  
サルスベリの名前の由来は、樹皮が滑らかで猿さえも滑り落ちることから「猿滑」と書く場合と、花の開花期間が長く、赤い花を咲かせるので(白や紫もありますが)「百日紅」という漢字の名前がつけられたと言われています。また、百日紅をヒヤクジツコウと読む場合もあります。サルスベリには通称、別称の呼び名が多数あり、花の咲く様子が笑っているように見えることから「笑木」、木の肌を掻くとくすぐったそうな印象から「くすぐりの木」「こちよこちよの木」とも呼ばれています。

2年 女子

心霊探偵 八雲



サルスベリ

この本は、死者の魂が見える男性とその男性に惹かれていく女性が、幽霊がかかわる事件を刑事と解決していくミステリーです。でも、ホラーっぽくなくてとっても読みやすい本です。恋愛要素も入っていて、毎回キュンキュンしながら読んでいます。この本は、全部で一〇巻出ていますが、ハマるとすぐに読めてしまします！ぜひ、読んでみて下さい！